

野菜の播種育苗実習の結果報告（実習日 H27.9.25、最終観察日 H27.10.6）
播種そして移植作業から 10 日目の記録

表：播種した野菜種子の発芽と生育及び移植した苗の活着と生育状況

実習	野菜名	グループ A	グループ B	グループ C
播種	トマト 180 粒	発芽不揃い 発芽率：57%	*****	発芽不揃い 発芽率：72%
	キュウリ 90 粒	*****	生育良好。すべてが 子葉を展開、本葉 0.5 枚	生育良好。すべてが 子葉を展開、本葉 0.5 枚
	キャベツ 225 粒	生育良好、本葉 0.5 枚発芽終了（94%）	生育良好、本葉 0.5 枚発芽終了（95%）	*****
移植	トマト 48 ポット	ほぼ直立。生育良好 本葉 3.5 枚	*****	ほぼ直立。生育良好 本葉 3.5 枚
	キュウリ 30 ポット	*****	ほぼ良好 萎凋：2 本	ほぼ良好 萎凋：2 本
	キャベツ 48 ポット	生育が不揃い。 生育不良：14 本	生育が不揃い。 生育不良：9 本	*****

「考察」

(1) 播種実習

トマト：両グループとも一部の播種溝への覆土が厚く、発芽不良が見られた。

発芽勢（発芽の斉一性）が悪いため生育も不揃いである。

キュウリ、キャベツともに発芽は良好。苗も素直に生育している。

(2) 移植実習

トマト：徒長気味の苗であったが、ほぼ直立し、葉数も増加している。トマトは移植に強く植え痛みが少ない。

キュウリ：徒長気味の苗であったが、ほぼ直立し、葉数も増加している。しかし、植痛みにより萎凋した苗（7%）も見られた。

キャベツ：9月30日まで順調に活着・生育していたが、10月2日に青虫による食害も見られ、生育が不揃いになってしまった（この日に青虫は捕殺した）。移植用の苗の育苗中に蛾が葉に産卵したようである。最終的に植痛みの苗を含んだ生育不良苗は24%であった。

「総評」

トマトの播種を除いて、各種野菜の播種、移植実習の結果は良好でした。ご苦労様でした。